

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.12 2004年10月25日

目 次

研修会のおしらせ	1	臨床こぼれ話	5
研修会報告、他	2	理事会等報告	6
実態調査委員会	3	求人情報	7,8
施設紹介	4	事務局から	9

学術局から

1. 研修会のおしらせ (別紙もご参照ください)

平成16年度第3回研修会

研修会を次のように計画しています。「新生児聴覚スクリーニング」をテーマに講演と県内の現状をふまえたシンポジウムを予定しています。言語聴覚士にも関係の深い事業ですので是非ご参加下さい。

- * 日 時 平成16年12月5日(日) 13時~16時30分
- * 会 場 千葉大学附属病院 3階第2講堂 千葉市中央区亥鼻1-8-1
- * シンポジウム

基調講演	「新生児聴覚スクリーニングの現状と展望」
講 師	工藤典代先生(千葉県こども病院耳鼻咽喉科)
シンポジスト	福島朗博先生(筑波大学附属聾学校乳幼児教育相談室) 齊藤真純先生(千葉県こども病院耳鼻咽喉科) 田辺佳子先生(千葉市療育センター・やまびこルーム)

手話通訳、要約筆記による情報保障をします。

- * 参加費 会員・会友無料、会員外1000円、学生500円

- * 申し込み及び問合せ先:

〒272-0823 市川市東菅野2-12-4 市川ことばの会 野島洋子

TEL:047-324-4348 FAX:047-324-4348 (電話でのお問合せは18:30以降にお願いします)

2. 平成16年度第2回研修会報告

平成16年9月25日(土) 千葉県こども病院第1会議室にて、今年度の第2回研修会を開催しました。今回は小児の症例検討会を行いました。発表者および助言者は下記のとおりです。参加者は32名(うち会員・会友18名、会員外14名)でした。当日行ったアンケートの結果を一部ご紹介します。

テーマ:「A D H Dが疑われる小学2年生の指導 関係機関との連携をとおして」

発表者:渡邊 裕貴先生 (印西市こども発達相談室)

齊藤 恵美子先生 (印西市立内野小学校ことばの教室)

助言者:森永 良子先生 (白百合女子大学)



<アンケート結果より>

- ・ 地域で子どもの育ちを支えるとき、長くつながるあるいは横に広がるネットワークがそれぞれの市町村に作られることの大切さを思いました。
- ・ 各担当の連携、早い対応、子供の成長のために必要と思われる事に積極的に取り組んでいらっしゃる事例を聞くことができました。事例を通しての発表でわかりやすかったです。

- ・ 1ケースについて幼稚期から就学までの連携のとり方について、他市においての現状を把握することができました。今後、参考になる部分を活かしていくことができればと思いました。
- ・ 軽度発達障害の子どもたちにとって、ひとりの子に関わる各関係機関の連携がとても大切なですが、なかなかうまく機能しません。でも、そのためには何が必要なのか、私達はこれから手をつけていけばいいのか、わかったような気がします。
- ・ 各教育機関の連携の大切さと難しさを感じた。ことばの教室担当者として学級担任、保護者の橋わたしができるよう、今後工夫していくなければならないと思った。
- ・ 時間が足りなくなってしまったのが惜しい。協議ももっと長く、たくさんの意見を聞きたかったし、それに対する講師の先生の話もききたかった。教育と関連機関との協力が自分の地元だけでなく、他のところも問題が多いということを痛感した。

<学術局より>

研修会へのご参加とアンケートのご協力ありがとうございました。幼稚期の担当者、小学校の担当者、ソーシャルスキル担当者、通常学級担任がうまく連携して、コミュニケーション障害のある児を支援したという報告でした。今後、各地域でそれぞれの担当者がさらに連携していくきっかけになればと考えました。また、研修会の終了時刻が予定を超過し、参加者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことをお詫びします。今後とも研修会へのご参加とご意見をお待ちしています。

3. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。

貸し出し期間：1ヶ月

方法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼って送ってください。

あて先：〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-45-1 千葉県袖ヶ浦養護学校 小学部 野島 洋子

貸し出しビデオ：

- 「ST がおこなう高次脳機能障害の臨床」 講師 鈴木 勉先生（東京都立墨東病院）
- 「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」 講師 長澤 泰子先生（日本橋学館大学）
- 「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」 講師 矢守麻奈先生（都立駒込病院）
- 「重複障害児のAAC - 日常生活とST訓練を結ぶ」 講師 知念洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- 「記憶障害の臨床像と対処法-症例を通して-」 講師 安田清先生（千葉労災病院）
- 「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援 - 通院及び通所（デイケア）リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り-」 講師 横張琴子先生（松戸神経内科）
- 「コミュニケーションの発達と支援 - 前言語期から言語獲得に向けて-」 講師 長崎勤先生（筑波大学）
- 「脳外傷の高次脳機能障害 - 認知・コミュニケーション障害の評価 -」 講師 藤田郁代先生（国際医療福祉大学）

* 貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

3. 研修会資料の送付

希望者に研修会資料の配布を行っています。返信用封筒(A4サイズ)に住所、氏名を書き、切手(200円分)を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：上記のビデオ 、 、 の資料及び下記のとおりです。

症例検討会「成人の高次脳機能障害」

発表者：武田智子先生(千葉中央 хр' カルセンター 前・加曽利病院) 酒井千代先生(佐倉ホワイエ)

助言者：鈴木勉先生(都立大塚病院) 相見優子先生(下総病院他)

症例検討会「小児のコミュニケーション障害」

発表者：小宮山則彦先生(亀田クリニック) 依田美都先生(帝京大学市原病院)

助言者：田中康雄先生(国立精神・神経センター・国府台病院) 知念弘美先生(千葉県千葉リハビリテーションセンター)

脳外傷の高次脳機能障害 - 認知・コミュニケーション障害の評価 - 講師 藤田郁代先生

症例検討会：「ADHDが疑われる小学2年生の指導 関係機関との連携をとおして」

発表者：渡邊 裕貴先生(印西市ことばの発達相談室)

齊藤 恵美子先生(印西市立内野小学校ことばの教室)

助言者：森永 良子先生(白百合女子大学)

4. 地域の勉強会について

昨年度から会員の皆様のご協力により、地域の勉強会が開催されています。同封の「千葉県内で行われる地域の勉強会情報」をご参考の上、奮ってご参加ください。また、ホームページではこの情報について随時更新を行っていますので、ぜひご利用ください。希望者にはメールマガジンでのアナウンスも行っていますので、そちらもご参考ください。

5. 「学術局 ネットワーク名簿」の更新について

学術局では、会員・会友のネットワーク作りを進めるため、対象領域別(小児・成人)の「学術局 ネットワーク名簿」を作成しています。今年度も名簿の更新を行いますので、変更のある方や新規に登録される方は、同封の用紙にご記入の上、ご返送ください。

社会局から

実態調査委員会について

前号でもお知らせしましたが、前年度に引き続き、実態調査委員会の設置が決定されました。今年度は「特別支援教育プログラム」についての調査・研究を行います。第1回委員会は平成16年9月26日(日)に高洲コミュニティーセンターにて開催され、今年度の調査についての協議がなされました。

委員長：未定

委員：太田律子(市川市総合福祉センター発達支援課ことばの相談室)

知念洋美(千葉県千葉リハビリテーションセンター)

長谷川啓子(千葉大学医学部附属病院)

松本恵子(八千代市勝田台小学校)

野島洋子(袖ヶ浦養護学校)

担当理事：勝又綾子

実態調査委員会では、引き続き委員を募集しております。特別支援教育プログラムには、さまざまな立場にいるSTが関わることが考えられます。多くの方のご意見をお聞きし、県士会としての意見をまとめたいと考えております。ご協力いただける方は、ぜひご連絡をお願いいたします。社会局担当勝又までメール：chibakenshikai@zp.moo.jp

施設紹介

JFE健康保険組合川鉄千葉病院 ST 倉持 裕子

(旧 川崎製鉄健康保険組合千葉病院)

[病院紹介]

平成15年4月より、母体である川崎製鉄と日本鋼管の統合で、病院名が変わりました。病院名がどうなるか危惧しましたが、それまでの通称「川鉄千葉病院」をそのまま使うことになり、患者様、職員とも混乱なく移行することができました。診療科目16科、病床数360床で、千葉県の救急二次指定病院として救急医療、地域医療を担っています。JR蘇我駅 (JR千葉駅から2駅目、内房線と外房線の分岐点) から徒歩5分に位置し、便の良さから市外より通院される方も多いです。

平成15年9月には日本医療機能評価機構の認定病院になり、又、今年4月より臨床研修医病院に指定されました。

[リハビリテーション科及び言語聴覚療法部門]

リハビリテーション科 (昭和51年新設) に言語聴覚療法部門が開設されたのは平成元年4月です。

現在当科は、PT8名、OT3名、ST1名、マッサージ師2名、鍼灸師1名、受付事務員1名で構成されています。PT、OTは徐々に増員していますが、STは今以上の部屋の確保が難しく、残念ながら増員は見込めない状況です。

当院は1~2ヶ月で退院される方が多いので、言語聴覚療法の対象も入院患者様より外来患者様が圧倒的に多く、又、その約8割が失語症の方です。患者様が望む限り通院していただいているので、10年以上のお付き合いになる方も数名います。患者様一人一人としっかり向き合って臨床に励みたいと思います。所在地: 〒260-0842 千葉市中央区南町1-11-12 TEL: 043-261-5111 FAX: 043-261-2305

亀田メディカルセンター ST 根本達也

(亀田総合病院リハビリテーション室)

当センターは南房総の鴨川市に位置し、亀田総合病院(急性期)、亀田リハビリテーション病院(回復期、2004年6月開院)、亀田クリニック(外来)と主に3つの施設を有しています。それぞれの施設で言語聴覚療法の施設基準を取得、計12名のSTが所属しています。

亀田総合病院の対象疾患は、失語症、構音障害、高次脳機能障害、音声障害、摂食・嚥下障害など、主に急性期の成人が対象です。神経内科・脳神経外科が中心ですが、口腔外科、救命救急科、心臓血管外科など、依頼科も多岐にわたり、進行性神経筋疾患などのコミュニケーション代替手段の獲得、人工呼吸器・気管切開下の発声及び発語練習、高次脳機能の術前術後評価なども行っています。中でも摂食・嚥下障害に対しては栄養室と連携のもと嚥下食を導入し、栄養サポートチーム(NST)体制をとって行っています。

亀田リハビリテーション病院も主な対象疾患は総合病院と同様ですが、急性期治療を終えた方が中心です。他職種との連携を図りながら自宅復帰、社会復帰を主な目標とし、積極的な練習を行っています。

亀田クリニックでは、成人と小児が対象です。成人は回復期・維持期が中心で、グループ練習を行うなど、コミュニケーション能力を高めることにも力を入れています。小児は、言語発達遅滞、機能性構音障害、口蓋裂、自閉性障害、ADHD、学習障害、脳性麻痺などを主な対象とし、個人治療の他、自閉症児の親の会を開催し、勉強会や交流の場を提供しています。

所在地: 〒296-0041 鴨川市東町929 TEL: 0470-99-1210 FAX: 0470-99-1120

亀田メディカルセンター <http://www.kameda.or.jp>

臨床こぼれ話

STとしての50年を振り返って（前半）

若い皆様にとってはちょっとかび臭い…昔のSTの話をさせていただきます。

日本では、昭和30年代後半頃から言語治療教室という形で言語障害児へのサポートが始まり、公的なものが中心になって（文部省関係としては、大学の研究室・言語治療教室…、厚生省関係としては国立病院・国立聴力言語障害センター・障害福祉センター等）進められてきました。

しかし、それ以前から、民間では井沢修二氏の提唱された吃音矯正の手法の流れが、日本の言語障害者の悩みに対しての支えの場となっていました。

私がSTという仕事に出会ったのは、教職のポストを探しているとき、たまたまスタンフォード大学で言語病理の臨床を学んでこられた故浜本幸之氏に出会ったことがきっかけです。

父君が始められた吃音矯正の施設に言語発達遅滞の部門を新設したいということで、職員として、言語障害の概念・言語病理・治療のプロセス・手法などの学習、セラピーの実習などの指導を受け、昭和34年から実務に就きました。氏はその後再度渡米されA・S・H・Aの「言語病理臨床治療許可」の資格を取得され、昭和40年に東京スピーチクリニックを開設されました。

当時はスピーチ・セラピーといつても、社会的にまったく認知されていませんでした。しかし、隠れたニーズは多く、相談するところもなく、まして訓練の場も少ないとから大事な時期を逃してしまったということが多かった時代でした。

戦後日本でも、アメリカの制度に倣って千葉市立院内小学校に言語治療教室ができるに及んで、野火の広がるように、隠れていたニーズが表に出てくるようになり、言語障害ということばも一般的に理解されるようになりました。同じ頃、国立のST養成施設（現在の所沢リハビリテーションセンターの前身）ができ、本格的なST養成が始まり、狭き門をくぐった有能なSTが各方面で活躍を始められ、一方海外で力をつけた学者の方々が大学で言語病理学の講座を開かれ、言語障害に関する書籍も少しづつ出版されるようになりました。

初めの頃は、相談の大半は吃音、ことばの遅れ、脳性まひ、口蓋裂などでした。（聴覚障害については聾学校へというルートが確立していましたが、軽度・中等度難聴の子どもさん達が次第に地域の学校に通いながら訓練を希望する方も増えてきました。）

子どもの吃音について言えば、相談数は多かったのですが、内向化の時期は現在に比べると早かったような気がします。

口蓋裂の状況はとても辛いものでした。手術の手法が未熟な時代でしたので、術後もうろく孔が残存したり、呼気の鼻漏出が改善されていないものが多く、発音訓練でカバーするにはあまりに困難なものが多くありました。さらに、手術の費用も保険の適用が最初の縫合のみだったため、経済的な負担が大きく、言語訓練まで手が回らない方も多かったものです。（次号に続く）

元 渡邊スピーチクリニック 渡邊倭文子

「臨床こぼれ話」への投稿をお待ちしております。送付方法は、郵便、FAX（送付票付）またはE-mailで「事務局」あてにお願いします。

次号は渡邊先生のお話の後半になります。

どうぞお楽しみに！！

理事会・委員会報告

平成16年度理事会報告

第5回

日時：2004年7月16日（金）20：00～23：00 場所：理事自宅

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、村西（以上理事6名） 田中（書記）

（会長より） ・他関連職能組織からの送付物について ・PT,OT,ST 役員連絡会について

（事務局より） ・平成16年度千葉県言語聴覚士会年間活動計画について ・新入会員、会友の承認について

・千葉県土会ニュースNo.11について

（学術局より） ・第23回関東甲信越ブロック理学療法士学会の情報提供と参加申し込みについて

・平成16年度第1回研修会の報告について ・平成16年度第2回、第3回研修会について

・千葉県内で行われる地域の勉強会について ・日本言語聴覚士協会の生涯学習システムへの対応について

（社会局より） ・特別支援教育プログラムに関する調査・研究について ・実態調査委員会メンバーの人選について

（新生児聴覚スクリーニング委員会より） ・第6回、第7回委員会の報告について

第6回

日時：2004年8月13日（金）20：10～23：00 場所：緑ヶ丘公民館 小会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西（以上理事7名） 田中（書記）

（事務局より） ・理事会会場について ・印刷物の印刷製本業者依頼について ・賛助会員に関する規定について

（学術局より） ・平成16年度第2回研修会について ・日本言語聴覚士協会の生涯学習システムへの対応について

（社会局より） ・情報公開に関するアンケートについて

第7回

日時：2004年9月20日（月）13：20～16：10 場所：高洲コミュニティーセンター 第2サークル室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西（以上理事7名） 田中（書記）

（事務局より） ・ハイリハちは「テンション ハイリハちは!! 2004」後援依頼について

・千葉県土会ニュースNo.12について ・広告記載規定について ・賛助会員入会申込書について

（学術局より） ・平成16年度第2回、第3回研修会について

・地域の勉強会に送付する生涯学習システムの説明文について

（社会局より） ・特別支援教育プログラムに関する調査・研究について

地域組織委員会の報告

第1回

日時：2004年6月26日（日）13：00～16：00 場所：千葉市療育センター

出席者：五十部、高橋、武田、田辺、村西、野原（書記） 欠席者：長崎

・今年度の活動方針について ・今年度のRSTと都道府県士会の連携について ・総会で説明する内容について

・今年度の活動（リスクマネージメント・生涯学習システム）について ・理事会への依頼について

実態調査委員会の報告

第1回

日時：2004年9月26日（日）10：00～12：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：太田、知念、長谷川、松本、野島、勝又（理事）

・現状の報告 ・活動方針に関する協議

新生児聴覚スクリーニング検討委員会の報告

第4回

日時：2004年8月29日（日）10：00～12：00 場所：千葉市療育センター 第3会議室

出席者：岡田、荻洲、斎藤、庄司、高橋、村西、三原（書記）野島、勝又（理事）

・研修会について ・保護者向けパンフレットについて ・母子手帳記載内容について

・聴覚検査フローチャートについて

第5回

日時：2004年9月23日（日）10：00～12：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：岡田、荻洲、斎藤、庄司、高橋、村西、野島、勝又（理事）

・研修会について ・パンフレットについて

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

求人情報

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧下さい。

坂の上外科

職種：言語聴覚士 常勤もしくは非常勤1名

施設概要：一般外来リハ、通所リハ、訪問リハ

待遇：当院規定優遇 勤務時間：8時30分～17時30分（応相談） 勤務日：応相談

TEL 043-294-5551 FAX 043-294-6513 担当：リハビリテーション科 PT 波平（なみひら）

成田病院 急募

職種：言語聴覚士 常勤1名 対象：成人（失語、構音障害、嚥下障害等）

条件：国家資格取得者、経験年数3年未満の方 採用時期：随時

成田市押畠896 TEL 0476-22-1500（代） 総合リハビリテーション科長 奥山

千葉徳洲苑

職種：言語聴覚士 非常勤1名（できれば経験者、出勤日数は相談に応ず）

対象：入所100人、デイサービス定員60名 採用時期：随時 給与：時給1,500円

その他：交通 新京成高根公団駅 千葉徳洲苑は送迎バスが出ます。

〒274-0068 船橋市大穴北7-22-1 TEL 047-457-8411 FAX 047-457-9800 担当：中澤

総泉病院

募集：言語聴覚士 常勤1名 対象：成人（失語症、構音障害、嚥下障害）

採用時期：随時

千葉市若葉区更科町2592 TEL 043-237-5001 リハビリテーション科 担当：宮崎・田中

袖ヶ浦市幼児ことばの相談室

募集：幼児ことばの相談員1名 勤務：1年間 週2回

給与：日額 8,400円 交通費の支給なし

TEL 0438-62-2111（内）326 FAX 0438-63-1310 袖ヶ浦市役所厚生課 担当：松野

成田市ことばの相談室

募集：言語聴覚士（小児臨床の経験者・要免許）1名

対象児：言語発達遅滞・脳性まひ・構音障害・聴覚障害・吃音など

勤務時間：月～金 8:30～17:00 雇用期間：1年（平成16年4月～平成17年3月）

時給：1,160円 成田市保健福祉館健康管理課（ことばの相談室）TEL 0476-27-1111 担当：斎藤

特別養護老人ホーム あすみの丘

募集：言語聴覚士 非常勤1名(経験ある方尚可)

対象者：特養入所者 50人 デイサービス30人の一部

勤務日：平成16年4月から 週2回 2時間/回 (曜日・回数・時間は応相談)

千葉県四街道市大日 1623-1 TEL 043-421-5188 FAX 043-421-5189 担当：星

浅井病院

募集：言語聴覚士 常勤・経験者希望

対象：成人の失語症、dysarthria、摂食・嚥下障害等

〒283-8650 千葉県東金市家徳38-1 TEL 0475-58-5000(代表) 担当：企画管理 浅岡・ST若梅

小張総合病院

募集：言語聴覚士 勤務日：4週8休 勤務内容：成人、小児の言語障害

採用時期：随時

給与：当院規定により優遇 経験加算あり 賞与：年2回

〒278-8501 千葉県野田市横内29-1 TEL 04-7124-6892 リハビリテーション科 小林

塩田病院

募集：言語聴覚士 新卒・経験者問いません 常勤2名

勤務開始時期：6月から随時

対象：主に成人、失語症及びdysarthria、嚥下障害

千葉県勝浦市出水1221 電話 0470-73-1221 リハビリテーション科 PT宮島 ST斎藤まで

八千代ケアセンター

募集：言語聴覚士 施設区分：介護老人保健施設 勤務時間：午前9:00～午後6:00(うち休憩60分)

給与：基本給 20万円 その他手当 5万円 賞与：年2回

千葉県八千代市島田55-1 電話 047-488-8788 FAX 047-488-7077 担当：鈴木(事務)

介護老人保健施設 ユー・アイ久楽部

募集：言語聴覚士 常勤1名 経験者、新卒ともに可 来春より勤務者希望

対象：成人 言語訓練、嚥下訓練 *併設クリニック、訪問看護ステーションでの仕事もあり
亞急性期の訓練や訪問もあります。

給与：基本給20万、資格手当3万 計23万円 賞与年2回(4.8ヶ月) 昇給年1回

待遇：交通費、住宅手当あり 各種保険、休暇あり

応募方法：随時受け付け

問合せ先：〒290-0022 千葉県市原市西広131(小湊鉄道海士有木駅徒歩10分)

電話 0436-20-0701 FAX 0436-20-0702 人事担当：古泉、またはPT大城まで

セントマーガレット病院

募集：言語聴覚士 有資格者もしくは資格取得見込みの方

給与：平成17年度初任給 23万円 *既卒者は経験による 昇給年1回、賞与年3回

待遇：交通費あり 各種休暇あり 各種保険あり 24時間保育室完備

応募方法：採用試験、見学は随時受付

問合せ先：〒276-0022 千葉県八千代市上高野450 医療法人 恵仁会 セントマーガレット病院

電話 047-485-5111 FAX047-484-1119 E-mail:jinzai@st-marguerite.or.jp
URL : <http://www.st-marguerite.or.jp/>

事務局から

1. メールマガジンについて

メールマガジンを発行しています。これは「ニュース」を補完するものや、求人情報など速報性の高いものが中心となっています。

「千葉県言語聴覚士会メールマガジン」の配信登録または停止は、事務局か下記 URL まで。

URL : <http://www.egroups.co.jp/group/CRST-MG>

2. 入会登録事項の変更届について

勤務先、住所等の変更がありましたら、事務局までFAXまたは郵送でご連絡ください。

3. 新入会員のお知らせ (敬称略) 会員数: 正会員 202人 会友 22人

正会員

山川直行(新松戸中央総合病院)

榎本美智子(小張総合病院)

藤永直美(希望病院)

橋崎江美(旭神経内科リハビリテーション病院)

榎本綾子(すいせんの里)

会友

早川 薫



編集後記: 暑い~と思っていたら、もう紅葉の季節になっていました。

年をとるとともに時間がたつのが早く感じられます。最近、

千葉県でも地震や台風の被害が生じています。皆さん、ど

うぞお気をつけください。それと空き巣にも十分ご注意を! (S)

事務局

〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室

TEL:(0438)36-1071 FAX:(0438)36-3867 E-mail : chibakenshikai@zp.moo.jp
<http://users.hoops.ne.jp/crst2002/> 会員専用ポート : affordance